

★

この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

★

第16回 ゴールドコンサート本戦

★日時

2019年10月14日(月・祝) 14:30開場 15:30開演

★会場

東京国際フォーラム ホールC

★座席

SS席 ¥4,000 S席 ¥3,500 A席(高校生以下無料) ¥2,000 車いす席 ¥2,000

※全席指定

チケット申込み
0570-02-9999
<Pコード 156-567>
チケット
であ

チケット
発売中

ポスター制作：STUDIO e.k

★ 高校生以下無料招待

A 席のみ高校生以下の児童・生徒の皆様に無料招待席（A 席指定席）を用意しています。子供たちに障がい者の活躍する姿を見てもらい、理解を深めてもらえれば幸いです。なお、事務局に事前申し込みが必要です。

★ 合理的配慮・情報保障について

当日は車いす席、磁気誘導ループ、手話通訳、パソコン文字通訳、点字チラシも用意しており、障がいを持つ皆様に楽しんでいただけるよう準備しております。

★ インターネット生放送

会場に来られない方のためにインターネット生放送を行います。当日のゴールドコンサートの模様を全世界に向けて配信いたします。下記アドレスにアクセスして御覧ください。
URL: <https://gc.npojba.org/live> 日時: 2019年10月14日(月・祝) 15:30よりスタート

★ お問合せ

NPO 法人日本バリアフリー協会 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-7-16-801 号
TEL : 03-5215-1485 FAX : 03-5215-1735 E-mail : info@npojba.org URL : <http://www.npojba.org>

発行所

発行人 : 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 50 円
編集人 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-7-16 801 号 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会 代表理事 貝谷嘉洋

印刷協力：株式会社森技報堂

jiba

Vol. 43

Libre | リブレ

編集・発行
NPO法人日本バリアフリー協会／政策研究所
Japan Barrier-free Association
【事務局】〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-7-16-801
TEL : 03-5215-1485 FAX : 03-5215-1735 E-MAIL : info@npojba.org
URL : <http://www.npojba.org>

Contents	目次
1.2・・・代表コラム	
3・・・出場者活動報告	
4.5.6・・・出場者紹介、ゲスト紹介	
7・・・応募状況	
8・・・特別ゲスト・審査員・司会者紹介	
9・・・第 16 回ゴールドコンサート協力者の皆様	
10・・・第 16 回ゴールドコンサート予選大会開催報告	
11・・・15 周年ゴールドコンサート・GC グランドフェスティバル 2018 の協力者の皆様	
12・・・サイバスロン車いすシリーズ	
13・・・ゴールドコンサートにおける合理的配慮 その②聴覚障がい対応	
14・・・NPO 活動報告 マスメディアによる告知・放送・掲載	
15・・・ボランティアスタッフ募集のお知らせ	
16・・・第 16 回ゴールドコンサート本戦 開催概要	

※本誌においては敬称を省略させていただきます。



©坂本和浩・松藤雅



★ 令和といえども変革を！

皆様、こんにちは。いよいよ令和の時代が始まりました。心機一転、張り切って活動にまい進したいと思います。

★ 大泉洋さんとのご縁

先日、俳優の大泉洋さんに、私が理事を務めます一般社団法人日本筋ジストロフィー協会の全国大会でトークショーをやってもらいました。

大泉洋さんは、映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」で筋ジストロフィーをもつ主人公として主演されています。その体の動かし方や雰囲気が、本当に筋力が衰えている筋ジストロフィーの人のようで、演技が迫真に迫っていました。コメディータッチの映画で、やんちゃで我がままな主人公がボランティアさんたちの介護を得て、前向きに地域で自立生活する姿が赤裸々に表現されていました。

自分らしく生きる事の大切さや障がいについていろいろと考えさせられると同時に、笑いあり、泣けるところあり、恋あり友情ありのとてもいい映画でした。

昨年、公開後すぐに映画館に鑑賞にいきましたが、その映画と大泉洋さんの大ファンになってしまいました。自分自身もお会いしたいのと、仲間の筋ジストロフィー者の励みになるという思いのもと、大会へ参加を依頼する手紙をだしました。

その結果、お仕事柄様々な制約があり、ご多用中にも関わらず、大会に駆けつけてくださり、同映画の監督、前田哲氏とともにトークショーを繰り広げてくれました。内容は、大泉さんとバナナにまつわるエピソードを交えた楽しいものでした。

お 2 人に心より感謝申し上げます。

昨年、担当させていただいた AC ジャパンのキャンペーンに引き続き、この映画を通して私がつ筋ジストロフィーについて最近少しずつ知られるようになってきたことは、非常に有難いことです。

次のページへ続く ➡

→ 前のページより続く

★ ありのまま自立大賞

活動が知っていただけるという意味では、昨年の夏、「ありのまま自立大賞奨励賞」という、障がいをもつ当事者の業績を表彰する民間団体の賞を私個人としていただきました。活動が知られ認められたことは、光栄なことです。

実はこの賞の選考委員長は、三笠宮家の瑤子女王殿下が務められておられ、選考の過程で実際にお話させていただくという機会にも恵まれました。表彰式では皆様にご挨拶もされたのですが、お話が大変上手で感銘を受けました。

令和の時代も、障がい者の自立、社会参加の拡大に努めていきたいと思います。



ありのまま自立大賞授賞式にて(平成30年7月)
(社会福祉法人ありのまま舎提供)



前田哲監督、大泉洋さんとともに日本筋ジストロフィー協会第56回全国大会にて(令和元年5月)

★ 令和の活動

まず私たちが最も照準を絞っているのは、何といても令和2年9月に東京で開催されるパラリンピックです。これまで、ゴールドコンサートや GC グランドフェスティバルで培ってきたものを、どのような形で貢献できるのか模索してきて、ようやく見えてきました。

それは、GC グランドフェスティバルの内容を拡充して、パラリンピックの魅力や関係者の本音を皆さんにお伝えしていくことです。その後も拡充して、野外でより多くの障がい者が観客として、スタッフとして、そして演者として参加できるようにします。また、収益をしっかりあげて、継続していくことができるものを目指します。そして、地方にも広げていく構想があります。

ゴールドコンサートは、今年 16 回目を迎えますが、20 周年までには NHK 紅白歌合戦に出演できるくらいブレイクするミュージシャンを輩出することが、目標です。そのためには海外や地方においてもより多く予選大会を開催して、底上げを図っていくことが重要です。何をにおいても、ゴールドコンサートは当法人のコアとなる活動ですので、今後も大事に育てていきます。

先日、台湾に行ってきました。首都、台北のバリアフリーの状況は、一部地下鉄、高速鉄道など比較的新しい公共交通機関こそ東京よりも整っていますが、歩道や民間施設、お手洗いなど全体的に見ると東京よりもかなり遅れています。

ただ驚いたことに、台北の都心で見かける車いす使用者は、東京よりも数倍多かったです。東京の、ひいては日本の車いす使用者、障がい者がなぜ街に出にくいのか、それが過保護の産物であると思うのは私だけでしょうか。電車に乗る際の駅員さんによるスロープの設置、コンサート会場で席までのアテンドと、その時トイレに行く必要があるのか聞かれること、車いすでお店に入ると店員さんが過剰に物をどけること・必要以上に話しかけてくること。日本ではこういったことで、気兼ねして外出しにくいのではないのでしょうか。

フラットな関係を築く事こそ、社会参加を拡げる鍵だと思います。令和の時代こそ社会にそのような変革を起こしていきたいです。

令和元年 6 月 代表理事 貝谷嘉洋



台湾にて(平成31年2月)



日時 2019年10月14日（月・祝）14:30 開場 15:30 開演
会場 東京国際フォーラム ホールC
座席（全席指定）SS 席 ¥4,000、S 席 ¥3,500、
A 席（高校生以下無料）¥2,000、車いす席 ¥2,000

出場者活動報告

過去のゴールドコンサート（以下 GD）出場者の活動を一部ご紹介します。

2018年9月9日（日）
会場：ハチ公前広場、渋谷センター街他渋谷区内各ステージ

『渋谷ズンチャカ！』に、栗山龍太さん（GD7 出場）、佐藤ひらりさん（GD9 グランプリ）、宮島悟さん（GD13 出場）が出演。



2019年3月26日（火） 会場：カルッツかわさき

『オリックスグループ 春休みアキラさんの“お楽しみ”コンサート』でのロビーコンサートに、幣法人が紹介した佐藤翔さん（GD14 グランプリ）が出演。当日は午前と午後の2回、演奏。

※オリックスグループ 春休みアキラさんの“お楽しみ”コンサートは、オリックス宮内財団が主催し、新日本フィルハーモニー交響楽団が演奏するコンサートで、東京及び近県の障がいをもった児童・生徒とその保護者の方々等を無料招待されています。



2019年4月

GD9 グランプリの佐藤ひらりさんの楽曲が JKA 補助事業ラジオ CM ソングに起用。

2019年4月5日（金） 会場：Shibuya eggman

わたなべちひろさん（GD13 観客賞）が、初のワンマンライブ『Chihiro Watanabe Concert 2019～旅立ちの春』を開催。

2019年6月2日（日）
会場：宮城県仙台市民広場他、33ステージ

『とっておきの音楽祭 2019』に、笙 YUU さん（GD13 楽曲賞）と、幣法人が紹介した山本まりんさん（GD15 観客賞、歌唱・演奏賞）が出演。山本まりんさんは、フィナーレのステージにも出演。

※とっておきの音楽祭とは、障がいがある人もない人も一緒に楽しむストリート音楽祭です。2001年に仙台で始まり、全国18カ所で開催されています。





★出場者名★ ^{ハーモニー} ^{ウィズ} ^{ユー} **Harmony With You**

☆曲名：FOREVER LOVE ☆障がい：視覚、その他 ☆地域：大阪 ☆構成：ボーカル、ピアノ

☆プロフィール
ボーカル林賢士とピアノ Aya によるアコースティックユニット♪
ボーカルの林賢士は 18 歳の時に視覚障害者となり、音楽の力により救われた経験を生かし活動しています。ピアノの Aya は難病と闘いながら発達障害を持つ息子を育てています。
ポップス、ロック、演歌、アニソン、洋楽などジャンルにとらわれず、なじみのある曲を中心にオリジナル曲も交えながら、私達なりのアレンジで皆様にプラスのパワーをお届けできるよう、時には熱く、時にはしっかりと演奏します！
皆様とのハーモニー（調和）を楽しみたいと思っています♪

★出場者名★ **キム・ジヒ**

☆曲名：Rylynn ☆障がい：知的 ☆地域：韓国 ☆構成：ギター

☆プロフィール
知的障がい 2 級で学校の授業が難しく、授業の時は絵を書きながら時間をおくりしました。友達と付き合うのを難しく思いました。
18 歳になったとき父の勧めでギターを学び、変化が起こりました。フィンガースタイルの技法を学び始めてから 6 ヶ月ぶりに全国障がい学生音楽大会の管弦楽部門で金賞を獲得することをはじめ、現在は、米国、欧州、ネパールなど多様な世界舞台で才能を披露しています。
2019 年 7 月 10 日に、デビューシングル・アルバム『母の後ろ姿』が発売されます。今年、秋の頃には、ミュージックドキュメンタリー映画『私の歌は遠く遠く』が公開されます。
暖かい感性のギタリストとして全国の小学校、中学校、高校生の学生に希望を伝える全国巡回公演をしています。

★出場者名★ ^{くりやま} ^{りょうた} **栗山 龍太**

☆曲名：リアルビクトリー ☆障がい：視覚 ☆地域：神奈川 ☆構成：ボーカル

☆プロフィール
大阪府高槻市生まれ。
11 歳の時緑内障により失明する。
筑波大学理療科教員養成施設を卒業後、2001 年より横浜市立盲特別支援学校教員として、鍼灸手技療法をはじめ医療系全般の指導に当たっている。2010 年、第 7 回ゴールドコンサートで入賞。同年、「僕の取り柄と盲導犬」の CD をリリース。2018 年には、東京パラリンピック支援ソング「リアルビクトリー」をリリースしパライベントを中心に活動している。

★出場者名★ ^{しん} ^{ぎょう} **神響**

☆曲名：話すだけで ☆障がい：視覚・精神、内部
☆地域：沖縄 ☆構成：ギター・コーラス、ボーカル

☆プロフィール
Gt.&Vo 要守良、Vo. 久高真澄により 2006 年にアコースティックデュオ「神響」を結成。
70 年代～80 年代のフォーク&ポップスやオリジナル曲を演奏しており、沖縄を中心に活動中。
月 1 回のライブハウス ZIGZAG や MUSIC BAR F、沖縄市主催のプロムナードコンサート、沖縄市商工会主催の自衛歓迎セレモニー、沖縄市ミュージックタウン音市場などでライブを行う。
2013 年、初アルバム「心響曲～シンフォニー」を自主製作。

★出場者名★ ^{もうもく} ^{ハル} **盲目のシンガーソングライターharu.**

☆曲名：素粒子 ☆障がい：視覚 ☆地域：京都 ☆構成：ボーカル

☆プロフィール
高校時代に結成したバンドがきっかけで、ギター・作詞・作曲を独学で学び始める。
その後、音楽活動からは離れていたが、2007 年に視力を失ったことと、子どもの誕生を機に音楽活動を再開。
現在は、キャリアカウンセラーとして働きながら、京都を中心に活動中。
透明感のある歌声と、誰もが抱く切ない思い出に寄り添い、涙を流すきっかけとなる歌詞とメロディーは好評を得ている。そんな音楽の力強さと優しさ、国境や、心の壁さえも超えるボーダーレスな魅力を沢山の人たちに伝えたい。

★出場者名★ ^{とよなか} ^{わだいこ} ^{こびき} **豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」**

☆曲名：海の太鼓 ☆障がい：聴覚 ☆地域：大阪 ☆構成：和太鼓

☆プロフィール
「鼓響」とは、音のない世界に生きる私達にも、太鼓の響きが音として伝わってくるという意味でつけました。
響きを体で感じ演奏するという非常に限られた音楽表現ですが、聞こえないから出来ないとかきらめるのではなく、聞こえなくても努力すれば出来るということを知っていただきたいのです。
練習には健常者の方々の数倍、数十倍もの時間がかかります。
集中力と体力の勝負ですが、一つの事をやり遂げたいその思いと、日本の伝統芸能である和太鼓を一人でも多くの人に楽しんでもらえるようこれからも練習に励んでいきます。

★出場者名★ ^{しょう} ^{ゆう} **笙 YUU**

☆曲名：令和の煌 ☆障がい：知的・発達・内部 ☆地域：宮城 ☆構成：笙ほか

☆プロフィール
幼少より雅楽に惹かれ、13 歳で笙を手にする。
雅楽曲はもとより、あらゆるジャンルの曲を演奏している仙台発の笙奏者。
平成 22 年より、宮内庁楽師 松井北斗氏に師事。
ウィリアムズ症候群という障害を音楽の分野に特化し開花させ、「心あたたかくなる笙の音を世界へ」との想いで演奏活動続けている。
2015 年 J C 青年会議所 T-1 グランプリ準優勝。2016 年第 1 3 回ゴールドコンサートで作曲した「風海る（かぜわたる）」で楽曲賞を受賞した。5 枚のオリジナル CD をリリース。1985 年仙台市生まれ。光明支援学校高等部卒業。

★出場者名★ ^{チョウ} ^{テツスイ} **張 哲瑞**

☆曲名：張哲瑞 ☆障がい：視覚 ☆地域：台湾 ☆構成：ボーカルほか

☆プロフィール
張哲瑞（花ちゃん）は、3 才頃両親離婚、お爺ちゃんとお婆ちゃんに育てられました。
お婆ちゃんはお爺ちゃんに暴力を振るわれ、花ちゃんはお婆ちゃんを守ろうとしましたが、思うように行かず、高校一年生の時、目が突然見えなくなりました。お婆ちゃんは奇跡を祈ってくれましたが、いくら治療や手術を受けても回復することはありませんでした。その日から、世界には白と黒しかなく、完全な形を読み取ることはできなくなりました。
見えなくなるまで、ギターを弾きながら歌うことが好きでした。日記は音楽で記録し、自分とお婆ちゃん、恋人、家族への思いを歌にしました。メロディーは付けますが、五音不全でした。
その後、ご縁で夢想者連盟に入り、7 年間修業をしてやっと一人前の創作歌手になりました。今は歌手だけではなく、司会者、スピーチ、ダンス、ものまねショーでも活躍しています。
去年優しい父親になりました。その温かさで自身の経験を特殊遭遇の方にシェアし、少しでも傷けられた心を慰めることができたと思います。

★出場者名★ まきた せいこ
真北 聖子

☆曲名：花びらを誘って ☆障がい：肢体 ☆地域：宮崎 ☆構成：ボーカル

☆プロフィール

20歳の時に、劇団SPCに入団。お芝居を通して表現活動を始める。さらなる表現の場を探していたところ、インターネットで“ゴールドコンサート”の存在を知り生まれて初めて作詞・作曲をしたオリジナル曲で応募。第2回ゴールドコンサートにて審査員特別賞受賞。その後、地元宮崎を拠点に、多数ライブやイベントに出演する他、講演活動や、MRTラジオにてラジオパーソナリティとしても活動中。

★出場者名★ エムシー クー
MC KOO

☆曲名：Maailmalle feat. Lossi T & Lilli Aro ☆障がい：知的・発達 ☆地域：フィンランド ☆構成：MC ほか

☆プロフィール

ゴールドコンサートに参加できることをとても嬉しく思います。また、フィンランドから日本へ行って演奏するのは素晴らしいことです！まだ一度も日本へ行ったことがないので、訪ねることができとても光栄です。私のショーはタフで素晴らしいものになるでしょう！最高なこの曲で勝つことを願っています！

★出場者名★ わか な
若 渚

☆曲名：空 ☆障がい：視覚 ☆地域：愛知 ☆構成：ボーカル、ギターほか

☆プロフィール

2000年3月12日生まれ。1歳で全盲と診断。3歳で愛知県立岡崎盲学校の幼稚部に入園。4歳でピアノとギターを始める。

小学校4年生の時にチャリティーコンサートに出演し、初めて人前で歌を披露。

2013年、NHKで放送された「ティーンズプロジェクトフレフレ」で作詞に挑戦。同年、念願のCDデビュー。自立を目指して盲学校の寄宿舎で生活しながら活動を続けている。



★くちいしかずと
口石 和人

☆プロフィール

1968年3月生まれ。現在51歳。

中学2年生の頃に近所のレコード屋で¥5000のフォークギターを買いそこから音楽にのめり込む。

高校生の頃にはバンドを組みライブハウス等で歌いそのまま社会人になり仕事をしながらライブハウス、酒場等を全国展開で廻る。

2008年、転落事故により脊椎を損傷して車椅子生活を余儀なくされるもしぶとく歌い続ける。

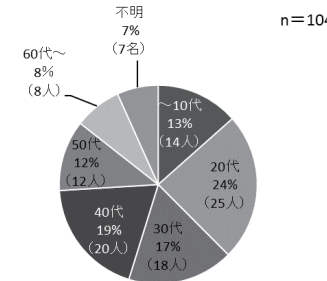
2016年、褥瘡になり敗血症を患うも、またまたしぶとく歌い続け、2018年、15周年ゴールドコンサートにてグランプリを獲得、現在に至る。

不屈の精神を持つ男、口石和人。宜しくお願い致します。



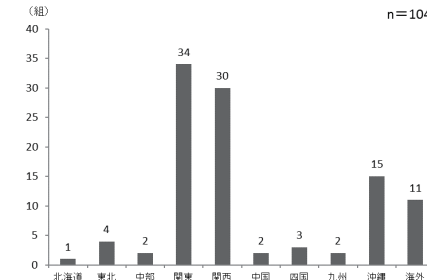
応募期間である、2019年2月1日～5月6日までの期間に沖縄・大阪・ソウルでの予選大会、音源エントリーを合わせて、104組の応募が寄せられました。ジャンルもポップス、クラシック、ロック、ジャズなど多岐にわたります。

★1★ 応募者の年齢



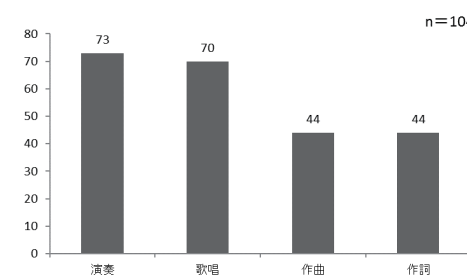
昨年より20代からの応募が増えましたが、例年応募が多い30代からの応募が減りました。昨年に比べ、応募総数が少なかったことが要因と考えられます。

★3★ 応募者地域



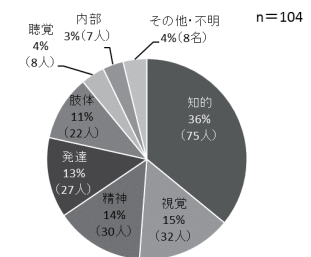
各予選大会には、沖縄13組、大阪22組（3組欠場）、ソウル6組が出場しました。予選大会が開催される地域では、音源応募数も多い傾向にあります。

★5★ 障がい者の役割



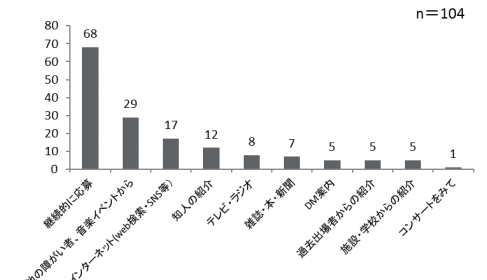
今回、オリジナル曲での応募は約6割。約4割がカバー、コピー曲での応募でした。※障がい者が複数の役割を担当する場合は、それぞれを障がい者の役割として集計しています。

★2★ 障がいの種類



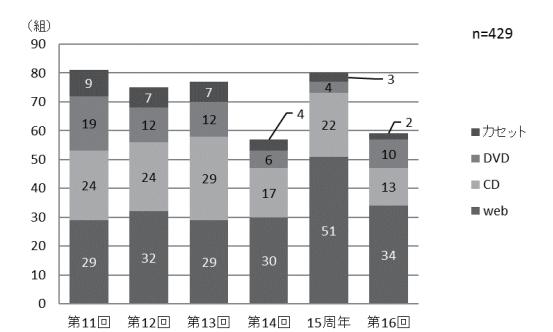
昨年に続き、知的障がい者からの応募の割合が多い傾向です。増加した理由として、グループでの応募が多かったことが考えられます。※重複障がいや、グループに複数の障がい者を含む場合は、それぞれを障がいの種類として集計しています。

★4★ 応募のきっかけ



幅広く応募のきっかけが分布しています。継続的な応募者（68組）、他の障がい者、音楽イベントやインターネット検索が応募のきっかけとして多くみられます。※複数回答有、回答者のみを集計

★6★ 音源応募の録音データ
（第11回～第16回までの音源エントリーのみ）



例年、WEBからの音源応募が多い傾向です。



★ カズフミ KAZUFUMI

プロフィール

大学時代、アマチュアバンドで活動中「紫」のキーボーディスト「ジョージ紫」の目にとまり、「ジョージ・紫・プロジェクト」に加入。
約3年間、コザ（沖縄市）のライブハウスを中心に米軍基地、県内外で活動。
「タケカワユキヒデ」沖縄ライブにてジョージ紫とともにバックを務める
日本を代表するドラマー「そうる透」をドラムに迎え、「ジョージ・紫・プロジェクト」でNHK ラジオライブで共演。
そのライブ音源“BURN”がアルバム“オキナワン・ハードロック・レジェンドリー”に収録される。
県内外の様々なアーティストのライブやレコーディングのサポート、リゾートホテルでの演奏活動により、ロック以外のジャンルも披露する。
米軍基地内のバンドに加入し約2年間様々なライブイベントに出演
「マリーウィズメデューサ」のヴォーカリスト「喜屋武マリー」のバンド「マリーズバンド」に加入し、アルバム“アジアンローズ”に参加、沖縄市の野外イベント ピースフルラブロック・フェスティバル、東京上野水上音楽堂等、多くのイベントに多数参加
「マリーズバンド」脱退後 ピースフルラブロック・フェスティバルに「高崎晃（ラウドネス）」「影山ヒロノブ」をゲストに迎え、「ジョージ・紫・プロジェクト」で出演、
2010年4月 コザ（沖縄市）のハードロックバンド JET 加入
現在は JET を中心に県内外で活動中



【審査員長】

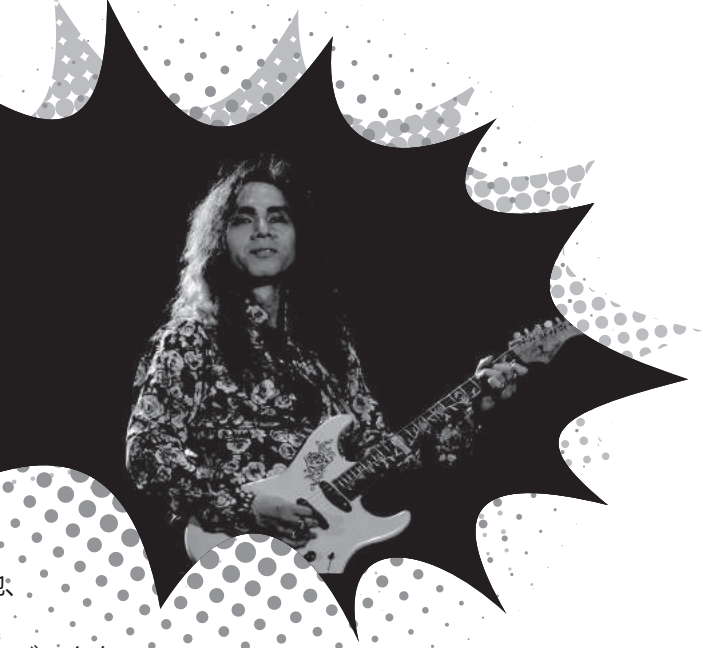
湯川 れい子（音楽評論家・作詞家）

【副審査員長】

吉岡 正晴（音楽評論家）

【審査員】

阿部 恒世（WaWaWa 元編集長）
工藤 由美（音楽ジャーナリスト）
小久保 隆（環境音楽家）
萩原 岳（ナレーター、宣伝販売促進コンサルタント）
花村 ひろ子（有限会社 エフ・エム・ジー 会長）



村松 加王里（フリーアナウンサー）
葛飾ふとめ・ぎよろめ（学芸人）



50 音順（後援を除く）

【後援】

厚生労働省 / 文部科学省 / フィンランド大使館 / 東京都 / 千代田区 / 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団 / 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター / 全国自立生活センター協議会 / 全国特別支援教育推進連盟 / 社会福祉法人鉄道身障者福祉協会 / 一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 / 公益社団法人日本フィランソロピー協会

【補助事業】

公益財団法人 JKA

【協賛】 企業・団体

公益財団法人オリックス宮内財団 / 関西学院大学 / キックマン株式会社 / 国際ソロプチミスト川崎 / コニカミノルタジャパン株式会社 / 株式会社コヤマドライビングスクール / 大同生命保険社会貢献の会 / 東京西ロータリークラブ / 日本信号株式会社 / ノーベルファーマ株式会社 / パイオニア株式会社 / パリミキ、メガネの三城 / 株式会社フォーシーズ / 有限会社フジオート FUJICON / 三菱商事株式会社 / Meiji Seika ファルマ株式会社 / 株式会社森技報堂 / 株式会社モンベル / 医療法人和楽会

【協力】

株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサルツーリズムデスク / 関西学院同窓会東京支部 / 江南障害者福祉館 Active Art / 株式会社京進 / クレセント経営研究所 / NPO 法人サポートセンターケントミ / 渋谷ズンチャカ！ / 一般社団法人障がい者自立推進機構パラリンアート運営事務局 / スポーツニッポン新聞社 / NPO 法人とおきの音楽祭 / 日本オラクル株式会社 / 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 / NPO 法人日本バリアフリー政策研究所 / パンローリング株式会社 / 株式会社フジテレビジョン / 株式会社0段差 / 株式会社メディカルフォーラム / めびうすの WA / 六本木ふるめん

NPO 法人日本バリアフリー協会理念

ミッション（使命）

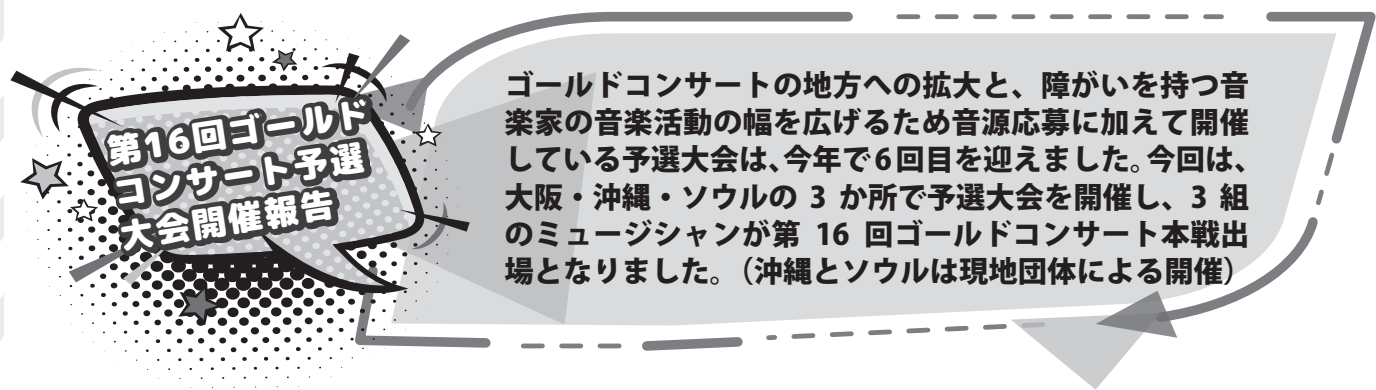
【障がい者発の事業で社会を豊かに】
「障がいは大きなニーズを生み、社会を発展させる」。この考えを、我々障がい者自身が事業を立ち上げ、実践する。

ビジョン（未来のあるべき姿）

【障がい者も一員として社会に貢献】
「わかりやすく楽しい事業」に、様々な分野からたくさんの人々に参加してもらう。闘うことはせず、実力を蓄え、賛同する仲間をどんどん増やす。障がい者に対する一般的な見方をポジティブにし、先端技術の発展に貢献することにより、我々障がい者だけでなく社会全体を豊かにする。

主な事業

- ・ ゴールドコンサート
障がい者が主催するコンテスト事業
障がい者が競う音楽コンテスト
- ・ GC グランドフェスティバル
障がい者が主催するエンタテインメント事業
著名アーティストが出演する音楽イベント



ゴールドコンサートの地方への拡大と、障がいを持つ音楽家の音楽活動の幅を広げるため音源応募に加えて開催している予選大会は、今年で6回目を迎えました。今回は、大阪・沖縄・ソウルの3か所で予選大会を開催し、3組のミュージシャンが第16回ゴールドコンサート本戦出場となりました。（沖縄とソウルは現地団体による開催）

第16回ゴールドコンサート予選大会 in 沖縄

主催：NPO 法人サポートセンターセントミ

2019年2月9日(火) 会場：ミュージックタウン音市場 応募者：13組

優勝：神響 曲名：話すだけで 地域：沖縄

障がい：視覚・精神、内部 パート：ギター・コーラス、ボーカル



第16回ゴールドコンサート予選大会 in ソウル 主催：カンナム 江南障害者福祉館

2019年2月26日(火) 会場：江南障害者福祉館 4階 Active Hall 応募者：6組

優勝：キム・ジヒ 地域：ソウル 障がい：知的 パート：ギター

第16回ゴールドコンサート予選大会 in 大阪 主催：NPO 法人日本バリアフリー協会

2019年6月1日(土) 会場：カンテレ扇町スクエア 1F イベントスペース 応募者：22組

補助事業：公益財団法人 JKA

後援：文部科学省、大阪府、大阪市 / 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団 / 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター / 一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 / 公益社団法人日本フィランソロピー協会 / 全国自立生活センター協議会 / 全国特別支援教育推進連盟 / 社会福祉法人鉄道身障者福祉協会

協力：社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会

優勝：Harmony With You

曲名：FOREVER LOVE

地域：大阪

障がい：視覚、その他

パート：ボーカル、ピアノ

準優勝：神吉 みちる

曲名：My heart will go on

地域：兵庫

障がい：精神

パート：ボーカル

観客賞：shu

曲名：ヒナユメ

地域：徳島

障がい：知的・発達

パート：ドラム



審査員長：仲川一昭

（福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響」代表・指揮者）

審査員：酒井 靖 （一般財団法人たんぼぼの家 エグゼクティブ・ディレクター）
口石 和人 （15周年ゴールドコンサートグランプリ）

ゲスト：口石 和人

司会：斎藤日登美、吉井康雄

【当日ボランティア】

亀谷 友輝、酒井 智子、坂本 和浩、志々目 璃奈、高田 弘治、高田 大、長井 勘治、中村 辰男、松藤 雅、森下 凧子、山本 奈実、吉井 雪絵、大同生命保険株式会社の有志

★ 15周年ゴールドコンサート協力者の皆様 50音順（後援を除く）

【後援】

厚生労働省 / 文部科学省 / 東京都 / 千代田区 / 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団 / 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター / 全国自立生活センター協議会 / 全国特別支援教育推進連盟 / 社会福祉法人鉄道身障者福祉協会 / 一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 / 公益社団法人日本フィランソロピー協会

【協賛】 企業・団体

有限会社 エフ・エム・ジー / 公益財団法人オリックス宮内財団 / 関西学院大学 / キックマン株式会社 / グラクソ・スミスクライン株式会社 / 国際ソロプチミスト川崎 / コニカミノルタジャパン株式会社 / コパケンとその仲間たちオーケストラ / コムシス通産株式会社 / 株式会社コヤマドライビングスクール / 株式会社 SANKO / 大同生命社会貢献の会 / 東京西ロータリークラブ / 日本イーライリリー株式会社 / 日本信号株式会社 / 株式会社日本テレソフト / ノーベルファーマ株式会社 / バイオニア株式会社 / バリミキ、メガネの三城 / 株式会社フォーシーズ / 有限会社フジオート FUJICON / Meiji Seika ファルマ株式会社 / 明治安田生命保険相互会社 / mont・bell / 医療法人和楽会

【協力】

株式会社エイチ・アイ・エスユニバーサルツーリズムデスク / 関西学院大学同窓会東京支部 / 江南障害者福祉館 Active Art / 株式会社京進 / 車いすアドバイザーいっぽ / クレセント経営研究所 / 渋谷ズンチャカ！ / 一般社団法人障がい者自立推進機構/パラリンアート運営事務局 / スポーツニッポン新聞社 / NPO 法人とっておきの音楽祭 / 日本オラル株式会社 / 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 / NPO 法人日本バリアフリー政策研究所 / パンローリング株式会社 / 株式会社フジテレビジョン / 株式会社0段差 / 株式会社メディカルフォーラム / めびうすのWA / 六本木ふるめん

【協賛】 個人

新居 倫子 / 市川おさと / 伊藤 毅志 / 大木 聖薫 / 加藤 進昌 / 加藤 喜昭 / 北原 恵美 / 公ちゃん / 齋藤 加代子 / 高橋 正夫 / 出口 貴美子 / 永田 啓子 / 西川 将巳 / 坂内 智也 / 坂内 恵子 / 平松 一夫 / 福澤 英子 / 福澤 利夫 / 福島 敏子 / 村上 みな子 / 森昭弘 / 山中 洋子 / 吉井 勇 / 吉崎 英雄 / 吉田 英治 / 他 匿名希望 9 名

★ GC グランドフェスティバル 2018 協力者の皆様 50音順（後援を除く）

【後援】

厚生労働省 / 東京都 / 江東区 / TOKYO FM / 一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 / 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 / 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会 / 社会福祉法人全国社会福祉協議会 / 全国自立生活センター協議会 / 一般社団法人ゼンコロ / 一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 / NPO 法人日本障害者協議会 / 日本障害フォーラム / 認定 NPO 法人日本セルフセンター / 医療法人和楽会

【協賛】

株式会社 N T T データ / 沖電気工業株式会社 / 株式会社コヤマドライビングスクール / 大同生命保険株式会社 / 株式会社東北新社 / 日本電信電話株式会社 / 株式会社フォーシーズ / 株式会社フロンティアインターナショナル / 株式会社メディカルフォーラム / ユアサ M&B 株式会社 / 医療法人和楽会

【協力】

株式会社アハバクリエイティブパーティー / 一般社団法人ありがとうショップ / 有限会社ヴィンテージロック / Emerald / ケー・エム貿易株式会社 / 株式会社 shift music / セカイイチ / 一般社団法人ソーシャルスポーツマネジメント / 一般社団法人チャレンジド・クリエイティブラボ / DISK GARAGE / 株式会社 THISTIME / 日本工学院八王子専門学校 / ノーベルファーマ株式会社 / 株式会社ポニーキャニオンアーティストズ

※当法人の2018年度年間活動へ、ファイザー株式会社からご支援をいただきました。



© 川津貴信

代表理事 貝谷嘉洋

（特）日本バリアフリー協会

平成31年2月1日

一、完了年月日

東京国際フォーラムホールC

一、実施場所

第15回ゴールドコンサート

一、補助金額

6,300,722円

一、事業の内容

社会を創る活動 補助事業

平成30年度 障がいのある人が幸せに暮らせる

一、事業名

平成30年度競輪補助事業完了のお知らせ



今年5月5日、日本で初めてサイバスロンの国際大会がカルッツかわさきで開催されました。「サイバスロン車いすシリーズ日本 2019」では、「脳コンピュータインターフェイス（BCI）レース」「機能的電気刺激（FES）自転車レース」「義手」や「義足レース」「外骨格（装着型ロボット）レース」など全6種目のうち「パワード（電動）車いすレース」が行われました。「車いすレース」はテーブル／スラローム（家具を動かさずに家具と家具の間を通り抜ける）／でこぼこ道／階段／傾斜地／ドア（ロボットアームなどを使ってドアを開け閉めする）、6つのコースを走破し、得点で競います（時間制限8分）。車いすを操縦する「パイロット」は障がい当事者であり、車いすを造るのは国内外の大学やベンチャー企業を中心としたチームです。今回は国内5チーム、海外3チームが参加、スイスのチームが優勝、2位はロシア、3位が日本の慶応大学チームでした。

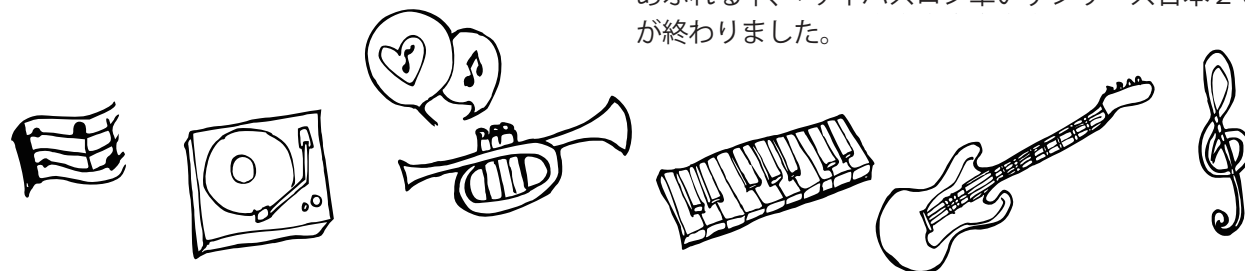


優勝・2位・3位のチーム！ ©ETH Zurich越智貴雄

競技会場は満員御礼とまでは言わなくても、パイロットとチームそして会場の熱気であふれていました（時には観客も手に汗握り…）。開催日は興奮の中、あっという間に終わりましたが、昨年末よりスイス大使館が運営事務局となり「サイバスロン車いすシリーズ日本 2019」実行委員として代表の貝谷も意見交換を重ねてきました。
“サイバスロンで電動車いすの性能を競い合うことで、多くの人々の関心を得られ、障がい者が高性能な電動車いすを使う有用性について啓発することができます。有用性に対する世論を形成する事で、電動車いすの給付の制度、予算を拡大させ、それにより使用者が増加し、安価で高性能な電動車いすが開発されるのではないのでしょうか”（貝谷談）
私も車いすユーザーの親として、この大会を通し、「日常生活に役立つ、人をアシストする技術の開発を、障がいのある人たちと共に促進し、幅広い社会の理解を促す」ことを学びました。そして、競技翌日の講演会にて、サイバスロン創始者ロバート・リーナー教授と「CYBATHLON 次の大会は2020年、チューリッヒで！」と交わり、希望あふれる中、「サイバスロン車いすシリーズ日本2019」が終わりました。



熱気あふれる会場にて（代表の貝谷と職員の後藤）



平成28年4月1日から施行された、障害者差別解消法では、障がい者に対する不当な差別的取扱いの禁止、そのための合理的配慮の提供を求めています。
音楽イベントにおける合理的配慮とは、会場のバリアフリー化をはじめ、聴覚障がい者に手話や文字通訳を行うこと、視覚障がい者に読み上げソフト対応の当日情報を提供すること、車いす席を用意することなどがあげられます。
今回はゴールドコンサートにおける主に聴覚・視覚障がい者への対応を紹介します。なお、案内の接遇については、紙面の関係上割愛させていただきます。

★ 主に聴覚障がい者への対応

■手話

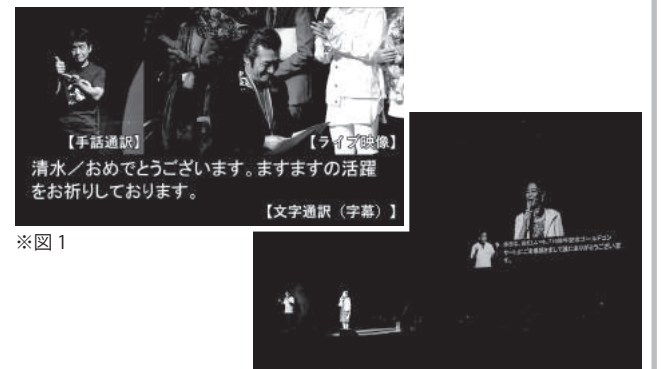
- ・ステージ上で手話通訳士（有償ボランティア）による手話通訳の提供。
- ・司会者や出場者、審査員等の観覧に供する発話について、3名が交代で通訳
- ※手話は、日本手話、日本語対応手話を織り交ぜたもの

■スクリーンにおける情報保障（写真1参照）

- ・250インチのスクリーン（画面比率16:9）にプロジェクターを投影
- ・スクリーンは3分割（図1参照）し、舞台のライブ映像、上記の手話通訳の映像、文字通訳（字幕）で構成している。
- ・文字通訳（字幕）は、入力者4名によって話者の言葉、音響／音声コンテンツを字幕として提供。
- ※スクリーンの映像は、照明演出によって見えづらくなることがあるので、当日のリハーサルにおいて調整している。

■ヒアリンググループ

- ・補聴器や人工内耳に明瞭な音を送り込むための仕組みのひとつ。会場の東京国際フォーラムに設置されている。
- ※情報保障は、主に聴覚障がい者を対象に実施するが、認知機能に障がいがある人々も対象としている。



※図1

※写真1

★ 主に視覚障がい者への対応

■アクセシビリティに配慮したウェブページの提供

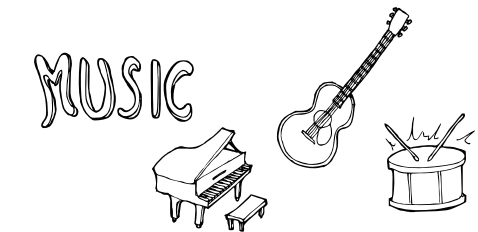
- ・国際的な基準 W3C アクセシビリティ・ガイドラインの要件を満たす。

■点字チラシの提供

- ・約 25,000 枚の一般のチラシのうち、100 枚を点字チラシ

■当日のパンフレットのデジタルテキスト版をウェブページに掲載

今回紹介しました、私たちの取り組みは2003年開催の第1回ゴールドコンサートから、Tokyo 2020アクセシビリティ・ガイドライン（2017年3月24日 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）の要件の大部分を満たしてきました。今後も、関係各所と連携しつつ、音楽イベント、スポーツイベントにおける合理的配慮のあるべき姿について模索していきます。



2019年

1月9日(水)	GD16実行委員会開催
1月11日(金)	一般社団法人筋ジストロフィー協会臨時理事会に代表が理事として出席@平河町
1月22日(火)	重度障害学生に対する支援のあり方に関する調査研究 団体ヒアリングに代表の貝谷が出席@丸ビル)
1月29日(火)	日本工学院卒業ライブを代表の貝谷と職員1名が視察@オリンパスホール
2月4日(月)	渋谷運動会前夜祭に事務局長が視察@岸記念体育会館
2月9日(土)	GD16予選大会in沖縄開催@ミュージックタウン音市場(主催:NPO法人サポートセンターセントミ)
2月26日(火)	GD16予選大会inソウル開催@江南障害者福祉館4階Active Hall(主催:江南障害者福祉館)
3月6日(水)	GD16実行委員会開催
3月9日(土)	一般社団法人日本筋ジストロフィー協会東京支部向け勉強会にて代表が講演@万世橋
3月18日(月)	サイバスロン車いすシリーズ日本2019実行委員会に代表が実行委員として出席@川崎市役所 第3回千代田区障害者支援協議会に代表の貝谷が出席
3月24日(日)	パラ駅伝inTOKYO2019に事務局長が視察@駒沢オリンピック公園陸上競技場
3月26日(火)	オリックスグループ 新日本フィルハーモニー交響楽団春休み アキラさんの“お楽しみ”コンサートにて弊法人が紹介した佐藤翔さん(GD14グランプリ)がロビーで演奏 代表と事務局長が視察@カルッツかわさき
4月17日(水)	代表がサイバスロンについて講演@慶應義塾大学 矢上キャンパス
4月23日(火)	サイバスロン車いすシリーズ実行委員会に職員1名が出席@スイス大使館
5月2日(木・祝)	サイバスロン車いすシリーズ日本2019ウェルカムパーティーに代表と職員1名が出席@スイス大使公邸
5月5日(日・祝)	サイバスロン車いすシリーズ日本2019 車いすレースに代表が実行委員会として出席、職員1名が出席@カルッツかわさき
5月6日(月・祝)	サイバスロン車いすシリーズ日本2019 シンボジウムに代表と職員1名が出席@川崎
5月15日(水)	国際ソロプチミスト川崎の例会で代表が卓話@川崎日航ホテル
6月1日(土)	GD16予選大会in大阪を主催@カンテレ扇町スクエア1Fイベントスペース
6月2日(日)	とっておきの音楽祭2019に弊法人が紹介した山本まりんさん(GD15歌唱・演奏賞、観客賞)と、笙YUUさん(GD13楽曲賞)が演奏@仙台市民広場他

【マスメディアによる告知・放送・掲載】

各項50音順	
テレビ・ラジオ	NHK各局
新聞	朝日新聞 / スポーツニッポン / 日刊スポーツ / 富山新聞
ラジオ	TOKYO FM
雑誌・機関紙など	一日も早く / 継 / 難病と在宅ケア / にってんデジーマガジン / NEWMEDIA / Happy & Healthy Music / 邦楽ジャーナル / ボランティア(ちよだボランティアセンター) / リハビリテーション
インターネット	神奈川県社会福祉協議会 / 公募ガイド / 時事通信 / CDジャーナル / スポニチアネックス / 登竜門 / 東京都社会福祉協議会 / 日刊スポーツ / にってんデジーマガジン『ブックウェブ』掲示板 / 公益財団法人日本チャリティ協会



下記イベントの運営を有志でお手伝いしていただける方を募集しています。どちらか一つでも、両方でも応募可能です。

★ 第16回ゴールドコンサート本戦

国内外の予選及び音源審査、100組の中から勝ち抜いた約10組の障がいをもつミュージシャンがグランプリを目指す音楽コンテストです。今年で16回目を迎えます。(昨年、学生さんから社会人の方まで約200名の方にご参加いただきました)

日時 2019年10月14日(月・祝)

8:00頃～20:00頃

ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加となったりする場合があります。お昼からの参加を希望の方はご相談ください。

会場

東京国際フォーラム ホールC【最大座席数1,502席】(東京都千代田区丸の内3-5-1)

仕事の内容

障がいをもつ出場者や舞台裏の手伝い、来場者の受付・案内、機材の搬入搬出、会場警備、その他
※コンサートを観覧いただきレポートを提出していただく事もあります
※経験は問いません。障がい者の方も歓迎
※手話、英語、中国語の出来る方歓迎

コンサート当日の諸条件

ボランティア保険(万一の事故に備え、主催者側で一括加入)軽食・飲み物支給あり、交通費の支給なし

締め切り 2019年8月31日(土)

(※応募多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります)

ボランティア説明会 2019年9月29日(日)

13:00～15:30 開催場所:東京都港区内

★ お申込み

日本バリアフリー協会ホームページのボランティア募集(<http://www.npojba.org/info/volunteer>)にある応募フォームからお申込みください。

お問合せ先：NPO 法人日本バリアフリー協会
☎ 電話：03-5215-1485 FAX 03-5215-1735 ✉ E-mail：info@npojba.org



★ GC グランドフェスティバル 2019

ロック、ポップスを中心とした著名アーティストによる音楽イベントで、日本初の障がい者が主催するエンタテインメント事業です。多くの業務を障がい者に発注しており、今回で5回目を迎えます。

日時 2019年10月19日(土)

8:00頃～20:00頃

ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加となったりする場合があります。お昼からの参加を希望の方はご相談ください。

会場

豊洲PIT(東京都江東区豊洲6-1-23)、隣接の野外会場

仕事の内容

チラシ、プログラム等の配布物の封入、機材の搬入搬出・会場警備、来場者案内、その他
※可能な方は各所でチラシの配布・ネット広報等の事前広報活動
※経験は問いません。障がい者の方も歓迎

コンサート当日の諸条件

ボランティア保険(万一の事故に備え、主催者側で一括加入)軽食・飲み物支給あり、交通費の支給なし

締め切り 2018年8月31日(土)

(※応募多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります)

ボランティア説明会 2019年9月29日(日)

14:30～17:00 開催場所:東京都港区内